

～元気の出るエピソード～

梅雨明けを控え、蒸し暑い日が続いていますが、体調を崩されてはいませんか。

世間では5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げになりました。それに伴い当院でも各病棟1日1組という制限の中で対面面会が始まりました。

私は、面会に同席させて頂く事もありますが家族様が嬉しそうなお様子なのはもちろんですが、それ以上に患者様の表情が穏やかになり笑顔も増え、嬉しそうにされている姿を見る事ができ嬉しく思います。面会後も病棟で家族様やペットなどのお話を聞かせて下さったり、普段あまり話さない方がお話し下さったりと様々な変化を見る事ができ、やはりご家族の力は凄いな...と感じます。また、面会を行う事で私自身が患者様の新しい一面を見つける事ができました。家族様から入院前のお元気だった様子を伺い他スタッフへ伝え、日々の関わりに結びつけていけるようにしております。

今後も対面面会を通し患者様や家族様の大切な時間や思い出となるようお手伝いさせて頂いたら嬉しいです。そして、入院生活の中で1日でも多く穏やかに笑顔で過ごせる日が増えるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

3F病棟看護師 齋藤祥子

診もり短歌



老いし妻 老いし夫が介護する
つばめ巣立ちぬ 梅雨空の下
Dr.ねざし

く老老介護の長寿国日本

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 7月号

発行日 令和5年7月1日

日を追うごとに夏らしくなるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。日頃より、当院の理念・方針をご理解頂きまして、誠にありがとうございます。

先日、顔がかぶれてしまった患者様がトイレに行こうとしているところにすれ違いました。「元のかっこいい顔に戻ってきましたね」と声を掛けると満面の笑みで、他の職員に「こういうこと言うんだよ」と照れながら話されていました。患者様の笑顔を見るととても嬉しくなります。入院当初を思い起こすと、「トイレに行きませんか？」と言葉足らずの声掛けによく怒られました。私たちは患者様一人一人の個性や症状を理解して関わるよう心がけています。

先月(6月14日)、「認知症基本法」が参議院本会議で可決・成立されました。認知症基本法では、目的について「認知症の人が尊厳を保持しつつ、希望を持って暮らすことができるよう、施策を総合的に推進する」と明記されています。

当院の方針である「その人らしさを尊重し、おもてなしと感謝の気持ちを忘れず、全ての方が笑顔でいられることを目指します。」は認知症基本法に明記された“尊厳・希望”に通ずるものがあると考えています。2025年には高齢者の5人に1人、およそ700万人が認知症になると予測されています。当院の果たすべき役割を自覚し、皆様のお役に立てるよう取り組んでまいります。

引き続きご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

3階看護師長 細田 恵子

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土・日
午前 認知症外来	鈴木	脇山	脇山	鈴木	鈴木・脇山	休診
	非常勤医師		非常勤医師 (7/12、7/26のみ)			
一般内科	窪山・丸山	丸山	窪山	窪山・丸山	窪山	
午後(新患のみ)	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	

※内科受診に関しては、他院での受診をお願いさせていただく場合がございます。

受付時間	診療時間	面会時間
午前	午後	平日 月～金 (祝日は除く) 15:30-15:40 2階病棟 15:45-15:55 3階病棟
8:45～11:30	13:00～15:00	9:00～12:00 14:00～17:00

※通常・オンライン面会のどちらも行ってまいります

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります
・紹介状
・お薬手帳をご持参ください。
予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日 10:00～12:00
認知症カフェ
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

～よつばご飯～



※写真は職員食になります。

献立
主食: にしんの茶そば
副菜: きゅうりと春雨の梅サラダ
副菜: 春巻き
デザート: きな粉プリン

栄養価
エネルギー: 535kcal
たんぱく質: 19.6g 脂質: 16.3g
炭水化物: 68.3g 塩分: 6.1g
※麺献立の為、塩分が高くなっております

初夏を感じる風物詩といえば、やはり新茶を思い浮かべるのではないのでしょうか。患者様にも季節の変化を感じて頂きたく、今月は初夏を感じる献立として、「にしんの茶そば」の提供を行いました。副菜の「きゅうりと春雨の梅サラダ」も、刻んだ梅干しを使い暑い季節にぴったりの食欲の進む献立となっております。

管理栄養士 水野俊

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話: 048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話: 048-796-5157

蓮田よつば病院
ディケアわかば

看護部の取り組み

令和4年度看護研究

カンフォータブル・ケアにより認知症患者に与える影響の検証

3階病棟 ◎今多 太・島田 真史・西川 五月

当院では認知症のコミュニケーション技法としてユマニチュードを用いているが、快刺激に着目したケア技術であるカンフォータブル・ケアが認知症の周辺症状を軽減するという事を札幌南病院での事例で知った。そこで対象患者にカンフォータブル・ケアの実践を行い、実際にどのような影響を与えていくかを検証してみた。

カンフォータブル・ケアとは、①いつも笑顔②いつも敬語③目線を合わせる④優しく触れる⑤ほめる⑥謝る態度を見せる⑦不快なことは素早く終わらせる⑧演じる要素をもつ⑨気持ちに余裕をもつ⑩相手に関心を向ける。の10項目を基本技術とし、これらを通じ心地よいと感じる刺激を提供する事で、認知症の周辺症状を抑える認知症ケアの手法である。A氏とB氏に実践し、継続して行う事で患者が穏やかになり、次第に被害妄想や引きこもりという周辺症状が軽減した。

実践後スタッフにアンケートを行い、効果を感じた職員が多かった。カンフォータブル・ケアを実践し、「介護を受け入れてもらいやすくなった。」「患者が穏やかになった。」などの意見が多く、カンフォータブル・ケアは周辺症状の緩和に効果があると感じた。

また、「対象者を決めて行うというより病院全体で取り組まないと難しい。」や「短期間で効果を出すのは難しい。継続して寄り添う事が大切。」などカンフォータブル・ケアを組織全体で取り組む事や長い期間で根気よく行っていく必要があるとの意見もあった。その他も「時間と心にゆとりがないと難しい。」「マンパワーが足りないと心にゆとりができない。」などの意見もあった。このような意見からもやはり病院全体で取り組み、職員へのメンタルサポートも必要だと感じた。

他にも「患者の立場に立ってケアを行うことが大切だと感じた。おもてなしの心をふり返る事が出来た。」という意見があった。これらは蓮田よつば病院の理念である「大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります」に通じる場所である。看護の基本である「患者の立場になって寄り添う」ということがカンフォータブル・ケアの実践であり、蓮田よつば病院の看護の基本であると感じた。



職員紹介

はじめまして。昨年12月16日に入職し3階病棟で勤務しております、渡邊真美と申します。お菓子とミニオンが大好きな61歳です。入職時期はコロナ禍で、毎日が慌ただしかったです。優しく支えて頂いたスタッフのおかげで、不安な日々を乗り越えられました。心強い皆さんと共に、認知症患者様に寄り添った看護が提供できるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3階病棟看護師 渡邊 真美

よつば病院栄養士おすすめの認知症予防献立

タコと赤大根のカルパッチョ

タコ・赤大根・イスチャード・オリーブオイルの栄養素により認知症の予防効果が期待出来ます！

材料(2人前)

茹でタコ...100g 赤大根(紅大根)...100g スイスチャード(不断草)...50g

ミニトマト...2個 玉葱...1/4個

A:オリーブオイル...大さじ1と1/2 塩...小さじ1/4 レモン汁...大さじ1

調理法

- ①赤大根は皮を剥き、半月に薄くスライスする
- ②茹でタコは赤大根と同じくらいの大きさになるように薄くスライスする。
- ③スイスチャードは硬い茎を取り除き、食べやすい大きさにカットし、ミニトマトは半分に切り、玉葱はみじん切りにする
- ④丸いお皿にタコと赤大根を交互に重ねながら円形に並べる
- ⑤真ん中にスイスチャードを盛る
- ⑥Aの材料をよく混ぜ合わせ、タコと赤大根の上にかける
- ⑦ミニトマトを飾り、冷蔵庫でよく冷やす



～よつば訪問看護リハビリステーション～

家の中から出ることなく一日中テレビを見てゴロゴロして、足の筋力も弱くなりトイレに間に合わず失禁することも増えて、食事や水分も目の前に出さないと摂取しない。生きる気力も元気になりたいという気力もない。そんな状態の方、多くなって来たと思いませんか？

認知症になってしまったのではないかな？うつ病になってしまったのではないかな？と心配になると思います。前向きな気持ちにさせるようあれこれ考え試してみても何も変わらない、どうしたら良いのだろうと悩んでいる方も多いと思います。確かに精神的な病気を発症している可能性もあり一概には言えませんが、行動にはその方なりの理由があると思います。

なぜ動かないのか？なぜ家から出ないのか？なぜゴロゴロしてしまうのか？それには理由があるかもしれません。どうしても理解できず意見してしまう事もあると思いますが、傾聴し共感することで、少しずつ変わることもあります。‘良き理解者’が居るという事で安心して前向きな気持ちになれるかもしれません。意見しようと思わず一度良く聞いてみてはどうでしょうか？私は利用者様の‘良き理解者’になれるよう傾聴や共感を大切に日々精進して参りたいと思っています。

よつば訪問看護リハビリステーション 看護師 藤代真弓

～よつば病院作業療法風景～

しそジュース作り



風船卓球



今月の予定

- 誕生会 2階・3階病棟 随時おこないます
- 認知症予防教室 7月22日(土)10時～11時30分
- はすカフェ 7月8日(土)10時～12時
- 理美容 第2・第3木曜日